

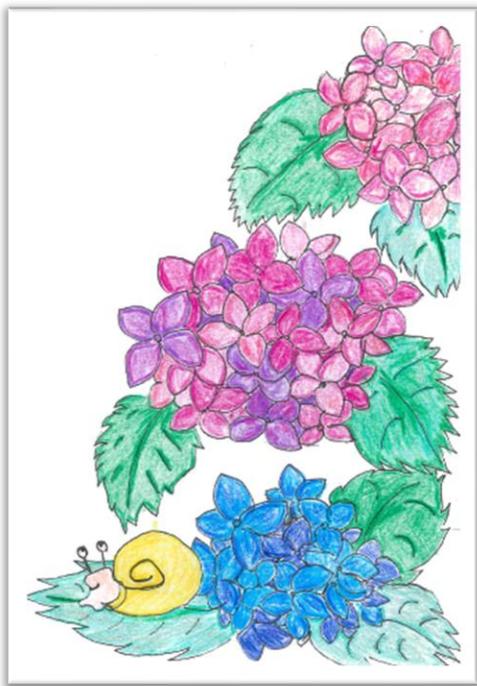
恵友会ニュース



題名：初夏 作：八一参



題名：初夏の尾瀬 作：アムロ・レイ



題名：かたつむりとアジサイ 作：れみい☆



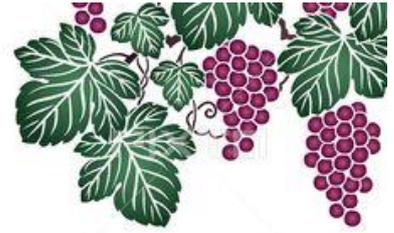
作：片岡卓

- 2・3P…令和4年度振り返りと令和5年度方針
- 4,5P…街の中で
- 6P…未来へのバトン
- 7P…活動報告
- 8P…巻末コラム



題名：小さき者たちの世界 作：れみい☆

令和 4 年度振り返りと令和 5 年度方針



理事長 坂口 育子

●各事業所のビジョンを具現化する目標から令和 4 年度を振り返り、活動を報告します。

法人事務局

4 月から事業部長、5 月から事務局次長を配置し、事務局運営と事業所・事務局の連携が更に充実するように努めました。人材育成では職員研修の体系化を進め、令和 5 年度からの階層別研修実施に向けて準備しました。法人の顔でもあるホームページをリニューアルすることもできました。

グループホーム

令和 5 年 3 月に定員 8 人の「つゆくさ」を新設開所することができました。スプリンクラーを設置し、バリアフリーを取り入れ、高齢者対応をよりスムーズにしました。自立支援に向けてサテライト型住居に 2 名が移りました。グループホームの一員として在籍しつつ、アパートでの 1 人暮らしに慣れ、自立するために毎日の安否確認、居室訪問、相談支援を行っています。

やすらぎ

コロナと共存しながら、調理実習をはじめ認知症講座等ヘルパー研修を対面で年 5 回再開することができました。新規利用者のサービス開始後の定期的な訪問も丁寧に行うことができるようになりました。

栄区生活支援センター

8050 問題が多くみられる栄区において、親が亡くなり、単身生活となった方の中に食事サービスやセンター利用をする方が増えてきました。南区生活支援センターと共に BCP 対応策の検討を深め、実効性のある事業継続を目指しており、災害時の福祉避難所としての研修も行いました。

南区生活支援センター

利用者の高齢化に伴い、介護保険やケアプラザの機能について研修を行い、理解を深めることができました。一方で精神障害を知ってもらうために、ケアプラザで精神保健福祉講座や当事者の体験発表の場を設けることもできました。

ほっとスペース関内

食料備蓄のための冷凍庫の購入や事故防止のための階段手摺の設置を完了しました。定期的に通所している利用者が 23 名と多く、中区で数少ない地域活動支援センターの役割を果たしながら、安定した運営を行うことができました。

ギッフェリ

令和 4 年度も就労に向けて 1 名利用者を送り出すことができました。イベントや販売受注が増えたのに加え、新規の関内落葉清掃等の清掃作業も順調で平均工賃が前年度より 3,000 円増額の 15,000 円以上となりました。

サザン・ワーク

利用者に即した支援に努め、平均通所者がほぼ 20 名となる安定した運営ができました。知的障害者施設とのコラボ企画が新規に実現、また焙煎コーヒー・クッキーとそれを入れるバッグのジョイント販売も好評を博しました。玄関にオーニングをつけた菓子工房の改装が完成し、目を引く外観となっています。



◎令和 5 年度運営方針

令和 5 年度は、これまでと同様に、継続して中長期プランを軸とした事業運営を進めるとともに、各事業所の更なる運営安定化を目指し、組織力強化向上と職員育成、処遇改善の充実に努めます。また、将来に向けて、法人事業を拡大していくことも含めて検討を行い、準備を進めていきます。

各事業所が策定した感染症及び災害発生時における事業継続計画（BCP 計画）の実効性を高めるため、現計画の検証と補正を行っていく予定です。

令和 5 年度法人事業目標

1. 中長期プランの推進と PDCA サイクルを踏まえたマネジメントの実行
2. 次期中長期プラン策定に向けた、職員参画による見直し・検討の実施
3. 各事業所の運営安定化のための支援の強化
4. 職員育成策の構築、勤務実績評価及び昇給判定の適切な運用と職員の処遇改善の実施
5. 策定した感染症及び非常災害発生時における事業継続計画（BCP 計画）の検証と補正の実行

1984年	・野草の会設立
1985年	・はだしの会設立
1987年	・横浜市の精神障がい者の居場所 ろばの会設立
1988年	・「ろばの家」開設
1990年	・中区初の精神障がい者の作業所 「すずらん荘」開設
1992年	・神奈川県初の共同住宅（GH） 「虹」開設
1993年	・ろばの会 法人化推進
1996年	・社会福祉法人恵友会設立認可 初代理事長 益巖就任
1997年	・GH「恵友ホーム」開設 二代目理事長 内田恵美子就任
1998年	・地域作業所 「ほっとスペース関内」開設
2001年	・「栄区生活支援センター」開設
2002年	・地域作業所「サザン・ワークプロジェクト」開設（現「サザン・ワーク」） 精神障害者居宅介護事業所 「やすらぎ」開設
2005年	・GH「バイオニアハイツ」の運営を 横浜市から受託
2006年	・三代目理事長 菅原道哉就任 「法人本部」「やすらぎ」、 南区唐沢から中区千歳町へ移転
2007年	・「南区生活支援センター」開設
2008年	・GH「ガーデンハイム」開設
2009年	・「サザン・ワーク」就労継続支援Bに 移行
2010年	・地域活動支援センター「ギッフエリ」 開設
2012年	・「南区生活支援センター」 自立生活アシスタント事業の開始 GH終末期支援実施
2013年	・「やすらぎ」介護保険事業の開始
2014年	・四代目理事長 池邊敏子就任 「ギッフエリ」就労継続支援Bに移行
2016年	・「南区生活支援センター」 地域移行・地域定着支援事業開始 社会福祉法人恵友会設立20周年
2018年	・五代目理事長 坂口育子就任
2019年	・GH「バイオニアハイツB」南区に 移転 名称を「はなもも」に変更
2021年	・「やすらぎ」移転
2023年	・GH「つゆくさ」開設

GH「つゆくさ」開設

GH新所長 高木秀典

3月よりグループホームの所長になりました高木と申します。長く恵友会でお仕事をさせていただいておりますが、一昨年度まで2年3か月間、私的事情はもとより、自己研鑽を積む為、他法人で仕事をしていました。昨年度、グループホーム常勤職員も約半数が入替わっており過渡期でもあります。先代の方々が積み重ねてきたものを基盤とし、更に新たなものの積み重ねが出来たらと思っておりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

前GH所長 松本綾（現ギッフエリ所長）

2023年3月1日、8か所目のグループホームとして「つゆくさ」が開所しました。現在あるホームの中では最もバリアフリー対応が可能な設備が備わっており、高齢のため、歩行が難しくなってきた方にも安心して生活できる環境を整えています。町内には高齢の单身生活の方、障害をお持ちの方もいらっしゃいます。中村町という下町らしいつながりが根付いているエリアで、地域の方たちとかかわりを多く持ち、「つゆくさ」が地域に開かれた場所であってほしいと思います。



毎回、食事が用意されることに飽きちゃったり、億劫になったりするんじゃないかと思ったけど、実際は楽になった。今までは、自分で用意だったのでお弁当とか茶色い食事ばかりだったけど、今はバランスの良い食事になって野菜も多く摂れるようになった。体重も減った。お風呂も前は自室の浴室まで物が溢れて、入浴の為に荷物の出し入れが面倒でたまにしかお風呂に入らなかったけど、今は、綺麗な大きいお風呂で快適に過ごしている。
《ワンルーム独立型のGHから来た Rさん》



以前は、男女共同型のGHだったので、今回、男性だけのGHと聞き、これが決め手となった。やはり異性には気を使うもの。前のホームには20年居たけど、今回、新しいメンバーに出会えた事も良かった。明るくなった。以前のGHは、エレベータの8階。普段は良いけど、災害時を考えると不安もあった。つゆくさは、避難先になる公園も近いし安心。《男女共同型GHから来た Yさん》

足腰も悪い中、以前のGHに比べ少し作業所までの距離が遠くなることに不安があったけど、バリアフリーで部屋も1階になり楽になりました。メニューもしっかり考えられた食事が毎日出ることも助かっている。《ワンルーム独立型のGHから来た Rさん》



今までのGHは、山の上でお部屋も3階。今は、お部屋も1階になり本当に楽になった。トイレがお部屋にあるのも助かっている。平坦な場所、歩きやすい環境にもなって、自分1人でコンビニまで買い物にも行けるようになった。2週に1度、ギター演奏をしに前のホームの職員さんが来てくれるのも楽しみ。《男性のみ共同型GHから来た Kさん》



未来へのバトン 第八回

「SSTで人との上手なかかわりを」

SSTリーダー 田栗 律子



私はサザン・ウインド(南区生活支援センター)にSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)のリーダーとして関わらせていただいて、15年くらいになると思います。

SSTとは、対人関係などのスキルを身につけることによって、関わっている場所などの社会生活を円滑に営んでいくためのプログラムです。

ロールプレイなどを通して実際にお困り事場面を考えて練習していくこと。そして、自分に合った適切な振る舞いなどを学んでいくことができます。さらに、病気の再発防止や生活の質の向上を目標としています。

私がSSTに関わるきっかけとなったのは、高森信子先生との出会いからです。先生がカウンセリングの講師をされているときの受講生でした。

高森先生は、全国をまわりながら、「生きづ

らさを抱えている当事者の方との接し方」をご家族、医療関係者、福祉関係者に講義している方です。私は高森先生のマインドを受け継いでいきたいと思っています。

私がホスピスの傾聴ボランティアをしていた時に先生が「精神障害者との関りは、やりがいがあるよ」と言って下さいました。そのことから19年前からSSTの道に入りました。

サザン・ウインドのSSTは、毎月1回開かれています。参加者が学びたい課題を、年間で決めて進めていきます。その課題の例を一部書き出します。

- ① 話の輪にどう入るか
- ② 怒りのコントロール
- ③ 不安な時の対処法
- ④ 嫌な人との付き合い方
- ⑤ お医者さんに困っていること上手な伝え方、等々

このように年間12回、苦手なスキルを学びます。SSTを進めていくには、お互いのコミュニケーションでは、相手の言うことは否定しないで聞く。良いところは褒める。意見を言うときは「私はず」と思う。＝「マイ・メッセージ」で伝えます。

グループワークなので、他の人の意見を聞いて参考に出来るし、対処法の数も増えるのがメリットです。

SSTのルールとして、話を振られても「パス」

が出来ます。(緊張しているとき、言いたくない時などには心強い言葉です。)

話した言葉に対して、良いところを褒めます。一人ひとりの違うことを認めながら、行われるので、安心した空間で、自由に話が出来るようです。

Aさんはグループワークを繰り返すことによって、自分の状態を言葉で表現することがうまくなっていました。今では支援センターで、「しゃべりすぎて注意を受けています」と、冗談を言うくらいになっています。

また、「言葉に飢えている」から、SSTの場がある事が楽しみだと言われる人もいます。

SSTでは、ひとつの事について集まった人々で話し合うこともできます。話すことによって仲間意識が出来ます。そして少しずつ人の輪が広がっていきます。

会を重ねるごとに、表情が柔らかくなったり、おしゃべりが増えたりします。身近なお困りごとを一緒に考えます。参加者の皆さんの様子からして、必要な場だと感じています。

これからも過ごしやすい日々を求めて、一緒に考えていきたいと思っています。



作：Y

◇所長の異動・昇格について

・関 直起	ギッフェリ所長	⇒	やすらぎ所長
・渡邊 美奈子	やすらぎ所長	⇒	ほっとスペース関内所長
・松本 綾	グループホーム所長	⇒	ギッフェリ所長
・高木 秀典	グループホーム主任	⇒	グループホーム所長

◇ホームページリニューアルについて

この度、恵友会のホームページが新しくなりました！
QRコードまたはURL からアクセスをお願い致します。

<https://keiyuukai.yokohama/>

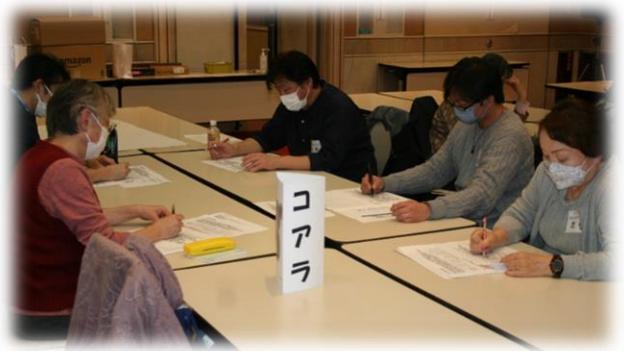


～活動報告 法人全体研修～

リスクマネジメント研修会 (災害時シュミレーション演習)

コロナ禍の影響もあり、約3年ぶりに法人全体研修を2023年2月20日に開催しました。久しぶりに各事業所から総勢61名が一堂に集まり交流を深めながら、リスクマネジメント研修を行いました。

(株)フォーサイトコンサルティング代表取締役、一般財団法人リスクマネジメント協会理事の浅野睦(あさのまこと)先生を講師にお招きし、風水害や地震を想定し、発災直後で準備すること、この先取るべ



き行動と段階を分けて、各々の所属事業所でどのような行動をとるべきか検討し、グループに分かれて意見交換を行いました。

2時間半の研修はあっという間に過ぎ、災害時の行動について改めて考えるきっかけとなったと同時に、コロナ禍で交流の少なかった事業所間の距離も縮まった法人全体研修となりました。

◆令和4年度 理事会／評議員会開催状況

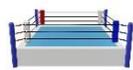
- ・第1回理事会 令和4年 6月 3日
- ・第1回評議員会 令和4年 6月22日
- ・第2回理事会 令和4年12月22日
- ・第3回理事会 令和5年 3月 6日
- ・第2回評議員会 令和5年 3月22日

◆ご寄付

高橋 真理様	H.H 様
丸山 常雄様	平井 岳哉様
K.O 様	綱島 志保子様
みなみ会様	捜真女学校同窓会 PTA 様
廣瀬 裕敏様	坂口 育子様

◎心より感謝申し上げます。恵友会が行う精神障害者支援活動のために有効に活用させていただきます。

Column⑫



ギッフェリ 谷口 敦哉

皆様お疲れ様です、ギッフェリの谷口敦哉と申します。私は昨年9月からギッフェリの常勤職員として働かせていただいております。大学卒業後に格闘技イベントの製作と運営の仕事に就きましたが、その仕事を辞め、縁あって恵友会のギッフェリと巡り合いました。私は社会人としての経験が少なく、しかも福祉関係の知識、経験、スキルは0からのスタートでしたが、ありがたい事に日々ギッフェリの職員やメンバーさんに助けていただきながら業務に取り組んでおり、ギッフェリでは主に清掃作業やパンの販売を行っています。

さて、ここからは私の趣味を熱弁させていただきます。私の趣味は格闘技観戦です！格闘技を見始めるようになったのはK-1 史上初の三階級制覇を成し遂げた武尊選手の試合をYouTube で見たことがきっかけでした。彼は華々しい見た目とは裏腹に相手をKO で「倒して」勝つファイトスタイルで、見る者に勇気や力を与えてくれる最高の格闘家です。昨年6月には約6年間もファンの間から熱望されていた那須川天心選手との試合が行われ、東京ドーム5万席（最前列300万円、2列目200万円、3列目100万円）のチケットが発売開始から即日完売し、歴史に残る大激闘を繰り広げました。格闘技界には武尊選手だけではなく、記者会見のトラッシュトーク(煽り合い)で会場を盛り上げる選手や冷酷なKO 勝利で会場を凍りつかせる選手など様々な個性を持った選手がいます。そして対戦相手との因縁やストーリーがあるため見る側としては試合前の段階で緊張感が高まります。先日一人で観戦に行ったのですが、推しの選手が勝った瞬間、思わず一人で立ち上がってガッツポーズしていました(笑)。是非皆様も現地で観戦して、熱い選手たちから力をもらってみたいはいかがでしょうか？

最後に、年度も変わりこれからまた忙しくなると思いますが、皆様体調を崩さず元気で明るい毎日を過ごしていきましょう！

【編集後記】今年度から就労継続B型を離れヘルパー事業所に異動になりました。メンバーの“聖域”である在宅場面での支援は私にとっては未知の領域であり、責任とやりがいを感じています。折しも世間では chat gpt というAIソフトが広がりつつあり、今後我々市民の仕事や日常生活を変えるとニュースで取り上げられていました。確かに実際に使ってみると色々な業務に活用出来そうだと思いますが、我々対人援助の仕事はどうかというと、AIの活用により効率化でき、また新たなサービスが生まれる側面もありますが、生身の対人関係の重要性は変わらず、むしろ一層大切になってくると思えました。そういう意味では、人として心の健全さを保つ事が大切だなあと改めて実感した次第でした。(広報委員長記)

●発行元／社会福祉法人恵友会 ●理事長／坂口 育子 ●編集校正／広報委員会 委員長 関 直起
●法人事務局／〒231-0035 横浜市中区千歳町 1-10 Jビルディング 4F
TEL 045-253-3432 FAX 045-242-2503 ホームページ <https://keiyuukai.yokohama/>

◇2023年度 新採用職員

・堀 尚和 南区生活支援センター ・葉山 由里子 グループホーム ・木村 遊 グループホーム